

(1) 岡山大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	第1学期	2025年4月9日	～	2025年6月9日
	第2学期	2025年6月10日	～	2025年8月10日
	第3学期	2025年10月1日	～	2025年12月2日
	第4学期	2025年12月3日	～	2026年2月14日
試験期間	第1学期	2025年6月3日	～	2025年6月9日
	第2学期	2025年7月31日	～	2025年8月6日
	第3学期	2025年11月26日	～	2025年12月2日
	第4学期	2026年2月4日	～	2026年2月10日
授業時間	1限	8:40～9:30	7限	15:30～16:20
	2限	9:40～10:30	8限	16:30～17:20
	3限	10:45～11:35	9限	17:30～18:20
	4限	11:45～12:35	10限	18:30～19:20
	5限	13:25～14:15	※9, 10限は授業の性質や時間割設定上やむ得ない場合に限り授業を行う。	
	6限	14:25～15:15		

法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース

開講期間	前期	2025年4月9日	～	2025年8月10日
	後期	2025年10月1日	～	2026年2月14日
試験期間	前期	2025年7月31日	～	2025年8月6日
	後期	2026年2月4日	～	2026年2月10日
授業時間	9限	18:00～19:30	10限	19:40～21:10

※補講については、授業担当教員が指定した日に行う。

② アクセス(案内図)

津島キャンパスへ



JR 津山線「法界院」駅: 徒歩約10分

JR岡山駅→岡電バス

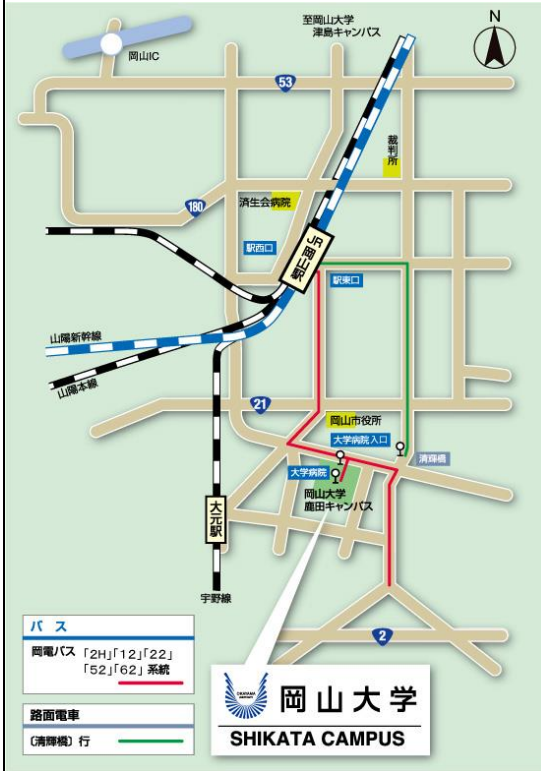
- 岡山駅運動公園口(西口)バスターミナル22番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車「岡大入口」、「岡大西門」、「福居入口」又は「岡大東門」で下車(所要時間約7～10分)
- ※本線は時間帯により「岡大東門」には停車しない場合があります。なお、「岡大東門」へはキャンパス外周を回った後に到着します。
- 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル13番乗り場から【17】【67】系統「妙善寺」行きに乗車「岡大東門」、「岡大西門」又は「福居入口」で下車(所要時間約30分)
- 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル7番乗り場から【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き, 【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き, 【36】系統「辛香口」行き, 【86】系統「運転免許センター」行きに乗車「岡山大学筋」で下車 大学まで徒歩(所要時間 バス約10分, 徒歩約7分)

タクシー 岡山駅運動公園口(西口)広場2階タクシー乗り場から 約7分

バス

- 岡電バス 駅西口【47】系統(岡大西門経由岡山理科大)行
- 駅東口【17】系統(妙善寺)行

鹿田キャンパスへ



JR岡山駅→岡電バス

- ① 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル 4 番乗り場【2H】系統「大学病院」行きに乗車「大学病院」(病院構内)で下車
- ② 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル 3 番乗り場から【22】系統「(市役所経由)並木町・岡山ろうさい病院」行き, 【52】系統「(市役所経由)当新田・大東」行き, 【62】系統「南ふれあいセンター・岡南飛行場」行き, または 4 番乗り場から【12】系統「岡南営業所」行きに乗車「大学病院入口」で下車 (所要時間約 10 分)

岡山駅→路面電車

岡山駅前の電車乗り場から「清輝橋」行きに乗車 終点「清輝橋」下車 大学まで徒歩。
(所要時間 電車約 10 分 徒歩約 8 分)

タクシー

JR岡山駅後楽園口(東口)タクシー乗り場から約 7 分

循環バス「めぐりん」

岡山駅前から循環バスで「大学病院入口」で下車

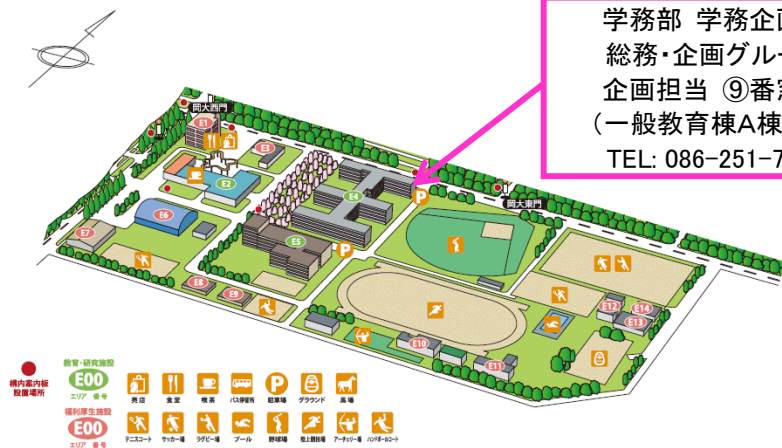
岡山大学公式ホームページ「交通アクセス」

(<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access.html>)

③ 担当窓口

学務部学務企画課

所在地: 津島地区東キャンパス 一般教育棟A棟2階



学務部 学務企画課
総務・企画グループ
企画担当 ⑨番窓口
(一般教育棟A棟2階)
TEL: 086-251-7186

津島地区東キャンパス

E1	南福祉施設 (ビーデユニオン)	E4	学務部 国際部 グローバル人材育成院 L-café 一般教育棟D・E棟 教育推進機構 学生支援部門 障がい学生支援室 スポーツ支援室	E6	清水記念体育館
E2	学生会館 教育推進機構 入試・高大接続部門 学生支援部門 キャリア・学生支援室	E5	グローバル・ディスカバリー・プログラム	E7	第二体育館
E3	保健管理センター 一般教育棟A~C棟 教学企画室 教育推進機構 共通教育部門 外国語教育部門 学生支援部門 学生相談室 留学生相談室 学習・教授支援 (CTE) 部門 AI 教授データサイエンスセンター			E8	第一武道館
E4				E9	第二武道館
				E10	体育管理施設
				E11	校友会文化系クラブ棟
				E12	校友会体育系クラブ棟
				E13	校友会トレーニング棟
				E14	合宿所

電話: 086-251-7186(直通)

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

第1・2学期:4月2日(水)15時まで 第3・4学期:9月18日(木)15時まで

所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。
(申込期限は延長しません。)

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

1. 初回の授業(またはオリエンテーション)当日に以下の印刷物をお渡しします。
※事前に所属大学の教務(単位互換担当)を通じて配布する場合があります。
対面授業科目の履修者は、必ず受け取りに来てください。
その際、講義室の場所を含め簡単な説明をしますので、時間に余裕を持って来学してください。
 - ①キャンパスマップ
 - ②単位互換履修生証
 - ③自動車通学許可申請書類(希望者のみ)
 - ④岡大ID・パスワード通知(必要な場合のみ)
 - ⑤その他 講義関係書類
2. 自動車・自動二輪車での通学は特殊事情がある場合に限り許可されます。
希望する場合は事前にお申し出ください。

遠隔授業科目を履修する方

所属大学の教務(単位互換担当)を通じて上記「①～⑤」の書類を配布します。

・ 施設利用

岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。
附属図書館・学食等が利用可能です。附属図書館の利用方法は図書館カウンターで単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

・ 岡山大学 学習支援システムmoodleについて

本学の多くの授業ではmoodleという学習支援システムを使用します。このシステムは主にレジュメ等の資料共有やレポート提出等で利用します。担当教員がmoodleを使用すると判断した場合、本学単位互換担当者が手続きを進め、その後「(ログインに必要な)岡大IDやパスワード」、「moodleの手引き」を単位互換履修生にお渡ししますので、必ず一読し、初回授業までにログイン等の手続きを終えておいてください。

(※詳細は申込完了後に別途連絡いたします。)

・ 今後の実施要項の変更について

やむを得ない事情により、一部実施要項の内容が変更となる可能性がございますこと、ご理解いただいたうえで、お申込みください。変更が生じた場合、申込後に所属大学の単位互換事務担当者を通じて連絡いたします。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

(岡山大学HP→在学生・保護者の方→シラバス→岡山大学開講科目)

・遠隔授業科目

遠隔授業(オンデマンド:文学部)				01101
授業科目名:人文学概説(西洋美術史 a)			担当教員氏名:龍野 有子	
Introduction to History of Western Art a				
履修年次 2~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(木曜 5・6 限)
<p>【授業の目的】 ヨーロッパ文化圏の美術(建築、彫刻、絵画、素描、版画、写真等)の主要な素材と技法について、各種の複製技法の問題を含めて概観する。ヨーロッパ文化圏の建築・彫刻・絵画・画像類の主要な素材と技法及び複製に関する問題について、基礎的な知識を獲得する。</p>				
<p>【授業内容】 第 1 回 はじめに:「人工物」としての美術作品 第 2 回 美術作品の制作と複製 第 3 回 建材・彫刻材としての石、土砂、木材 第 4 回 聖堂建築の展開 第 5 回 鑄造技法とブロンズ彫刻の複数性 第 6 回 陶器と陶像、陶器 第 7 回 絵画類の基本構造:基底材(支持体)と色材(絵具) 第 8 回 壁画の技法:フレスコとモザイク 第 9 回 板絵の領域:エンカウスティック、テンペラ、油彩 第 10 回 油彩技法の展開とカンヴァスの登場 第 11 回 中世装飾写本:紙が存在しなかった時代 第 12 回 紙とルネサンス:印刷術としての版画技法 第 13 回 写真術の開発前史:カメラオブスキュラ 第 14 回 写真術の発明</p>				
<p>【テキスト】 毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること。</p>				
<p>【参考図書】 第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。 別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p>				

遠隔授業(オンデマンド:文学部)				01102	
授業科目名:人文学概説(西洋美術史 b)			担当教員氏名:龍野 有子		
Introduction to History of Western Art b					
履修年次 2~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(木曜5・6限)	
<p>【授業の目的】 ヨーロッパの彫刻及び絵画類の主要な主題とジャンルについて概観する。 ヨーロッパの彫刻及び絵画類の主要な主題とジャンルに関する基礎知識を獲得する。</p>					
<p>【授業内容】 01. はじめに 02. 「美術(史)」とは何(ではない)か 03. 「大芸術」という概念(1)職業美術家の社会的地位 04. 「大芸術」という概念(2)ルネサンス的な美術論の形成 05. 「大芸術」という概念(3)美術アカデミーの成立とアカデミックな芸術論の形成 06. 「宗教美術」という枠組み(1)「教会」と「教会堂」 07. 「宗教美術」という枠組み(2)礼拝対象としての彫像と画像 08. 「宗教美術」という枠組み(3)礼拝図像と物語図像 09. 「主題の序列」という思想(1)「歴史物語画」という枠組み 10. 「主題の序列」という思想(2)非宗教美術としての神話主題 11. 「主題の序列」という思想(3)肖像 12. 「主題の序列」という思想(4)風俗主題と人物像 13. 「主題の序列」という思想(5)風景表現と風景画 14. 「主題の序列」という思想(6)静物</p>					
<p>【テキスト】 毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること。</p>					
<p>【参考図書】 第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜18:00とし、締切後の回答は受け付けない。 別に期末レポートを課す(評点全体の30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を2冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して2,000字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p>					

遠隔授業(オンデマンド:文学部)				01103	
授業科目名:人文学講義(西洋美術史 a)			担当教員氏名:龍野 有子		
Lecture on History of Western Art a					
履修年次 2~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(木曜 5・6 限)	
<p>【授業の目的】 古典古代から近世までのヨーロッパ美術史について通史的に講ずる。ヨーロッパの造型芸術(建築・彫刻・絵画・工芸等)に対し、単に感覚的・情緒的・主観的に接近するのではなく、日本を含む東アジア文化圏で生育した者にとっては異文化圏であるヨーロッパ世界が生み出した歴史的な産物として、客観的に理解する視点を獲得する。</p>					
<p>【授業内容】 01. イントロダクション 02. ヨーロッパ美術史の時代区分 03. 古典古代(1)古代ギリシア美術 04. 古典古代(2)古代ローマ美術 05. キリスト教の発生 06. 初期キリスト教美術と初期ビザンティン美術 07. ビザンティン美術 08. 西欧初期中世美術、ロマネスク美術 09. ゴシック美術 10. 中世から近世へ:「中世の秋」と「古典復興」 11. 近世(1)ルネサンスと 15-16 世紀の美術(1)初期ルネサンスから盛期ルネサンスへ 12. 近世(2)ルネサンスと 15-16 世紀の美術(2)マニエリスムとロマニスム 13. 近世(3)バロックと 17 世紀の美術 14. 近世(4)ロココと 18 世紀の美術</p>					
<p>【テキスト】 毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること</p>					
<p>【参考図書】 第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。 別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p>					

遠隔授業(オンデマンド:文学部)				01104	
授業科目名:人文学講義(西洋美術史 b)			担当教員氏名:龍野 有子		
Lecture on History of Western Art b					
履修年次 2~4	1 単位	第4学期	1 コマ	50 分×2(木曜 5・6 限)	
<p>【授業の目的】 18 世紀末から 20 世紀半ばまでのヨーロッパ絵画史の展開についてパリ画壇を中心に通史的に講ずる。近代ヨーロッパ絵画に対し、単に感覚的・情緒的・主観的に接近するのではなく、日本を含む東アジア文化圏で生育した者にとっては異文化圏であるヨーロッパ世界が生み出した歴史的な産物として、客観的に理解する視点を獲得する。</p>					
<p>【授業内容】 01. イントロダクション 02. 近代アカデミズムの形成(1)美術行政と美術市場 03. 近代アカデミズムの形成(2)基新古典主義とロマン主義 04. 前衛としてのリアリズム 05. 印象派と印象主義 06. ポスト印象主義、象徴主義と表現主義(1)印象主義に対する反発と反動 07. ポスト印象主義、象徴主義と表現主義(2)絵画の再定義の試み 08. キュビズム(1)「具象絵画」としてのキュビズム 09. キュビズム(2)キュビズムから非具象絵画へ 10. 未来派とダダ、構成主義 11. ダダからシュルレアリスムへ 12. シュルレアリスムと抽象美術(1)第二次大戦前夜の状況 13. シュルレアリスムと抽象美術(2)第二次大戦と抽象表現主義 14. モダニズムの終焉</p>					
<p>【テキスト】 毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること。</p>					
<p>【参考図書】 第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。 別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p>					

遠隔授業(オンライン:文学部)				01105	
授業科目名:人文学概説(日本美術史a)			担当教員氏名:大久保 範子		
Introduction to History of Japanese Art a					
履修年次 2~4	1単位	第1学期	1コマ	50分×2(水曜3・4限)	
<p>【授業の目的】 飛鳥時代から室町期までの日本美術の流れについて論じ、作品の文化的、歴史的な側面について美術史の観点から検討する。 時代背景が美術様式に対してどのように影響したのかについて、重要な作品を取り上げ考察する。</p>					
<p>【授業内容】 1:イントロダクション 2:飛鳥時代～奈良時代の美術 3:平安時代の美術 4:鎌倉時代の美術 5:室町時代の美術 1 6:室町時代の美術 2 7:絵巻物 8:試験(レポート)</p>					
<p>【テキスト】 特に使用しない</p>					
<p>【参考図書】 日本美術全集(全20巻)小学館 増補新装 カラー版日本美術史 美術出版社 山下裕二・高岸輝監修『日本美術史』美術出版社</p>					
<p>【成績評価の方法】 授業での取り組み(30点)および期末レポート(70点)によって評価する。</p>					

遠隔授業(オンライン:文学部)				01106	
授業科目名:人文学概説(日本美術史 b)			担当教員氏名:大久保 範子		
Introduction to History of Japanese Art b					
履修年次 2~4	2 単位	第 2 学期	1コマ	50 分×2(水曜 3・4 限)	
<p>【授業の目的】 江戸期の美術の流れについて学び、作品の文化的、歴史的な側面について美術史の観点から検討する。 時代背景が美術様式に対してどのように影響したのかについて、重要な作品を取り上げ考察する。</p>					
<p>【授業内容】 1:狩野派と土佐派 1 2:狩野派と土佐派 2 3:狩野派以外の絵師たち 4:琳派の美術 5:京都画壇の絵師たち 1 6:京都画壇の絵師たち 2 7:初期浮世絵 8:試験(レポート)</p>					
<p>【テキスト】 特に使用しない</p>					
<p>【参考図書】 日本美術全集(全 20 巻)小学館 増補新装 カラー版日本美術史 美術出版社 山下裕二・高岸輝監修『日本美術史』美術出版社</p>					
<p>【成績評価の方法】 授業での取り組み(30 点)および期末レポート(70 点)によって評価する。</p>					

遠隔授業(オンライン:文学部)				01107	
授業科目名:人文学概説(美学2a)			担当教員氏名:川野 恵子		
Introduction to Aesthetics 2a					
履修年次 2~4	1単位	第1学期	1コマ	50分×2(火曜3・4限)	
<p>【授業の目的】 西洋美学の歴史を古代から近代にかけて学んでいく授業です。なかでも諸芸術比較論に焦点をあて、諸芸術間のヒエラルキーの変化と連動して、学問としての「美学」が生まれ、展開していく歴史を概観します。諸芸術比較論は、美学が誕生する以前から西洋において古代から連綿と議論されてきた伝統的テーマです。ただしとりわけ18世紀以前は「諸芸術比較論」といっても事実上、詩を上位とする絵画との比較論、言い換えれば、テキストとイメージのヒエラルキー論として論じられてきました。それが学問としての美学の誕生する18世紀頃に大きく変化し、テキストとイメージのヒエラルキーが転覆し、さらにはイメージとイメージを比較する文字通りの諸芸術比較論が論じられるようになります。この諸芸術比較論の変化の理解を西洋美学の誕生とその展開の理解につなげ、西洋美学史を学ぶことがこの授業の目的です。美学aにおいては古代から近世まで、美学bにおいては近世から近代までを扱います。</p>					
<p>【授業内容】 美学a(1学期)においては、「美学」成立前、古代からルネサンスの美学的理論を扱い、詩を上位とする諸芸術のヒエラルキー／位階概念の成立経緯を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 プラトン 3 アリストテレス 4 プロティノス 5 アウグスティヌス 6 トマス・アキナス 7 ダ・ヴィンチ 8 まとめ <p>美学b(2学期)においては、「美学」成立を可能にした哲学的背景を抑えながら、諸芸術のヒエラルキーがいかに転覆し、今日にも通じる美学・芸術学概念が成立したのか学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 バトウ、デュボス 3 レッシング 4 デイドロ 5 ライプニッツ 6 バウムガルテン 7 カント 8 まとめ 					
<p>【テキスト】 教科書は使用しない。授業中にレジュメを配布する。</p>					
<p>【参考図書】 カロール・タロン＝ユゴン『美学への手引き』上村博訳、白水社、2015年。 小田部胤久『西洋美学史』東京大学出版会、2009年。 井奥陽子『近代美学入門』筑摩書房、2023年。 佐々木健一『美学辞典』東京大学出版会、1995年。</p>					
<p>【成績評価の方法】 平常点(授業内発表)30% 授業後のレポート 70%</p>					

遠隔授業(オンライン:文学部)				01108	
授業科目名:人文学概説(美学2b)			担当教員氏名:川野 恵子		
Introduction to Aesthetics 2b					
履修年次 2~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(火曜3・4限)	
<p>【授業の目的】 西洋美学の歴史を古代から近代にかけて学んでいく授業です。なかでも諸芸術比較論に焦点をあて、諸芸術間のヒエラルキーの変化と連動して、学問としての「美学」が生まれ、展開していく歴史を概観します。諸芸術比較論は、美学が誕生する以前から西洋において古代から連綿と議論されてきた伝統的テーマです。ただしとりわけ18世紀以前は「諸芸術比較論」といっても事実上、詩を上位とする絵画との比較論、言い換えれば、テキストとイメージのヒエラルキー論として論じられてきました。それが学問としての美学の誕生する18世紀頃に大きく変化し、テキストとイメージのヒエラルキーが転覆し、さらにはイメージとイメージを比較する文字通りの諸芸術比較論が論じられるようになります。この諸芸術比較論の変化の理解を西洋美学の誕生とその展開の理解につなげ、西洋美学史を学ぶことがこの授業の目的です。美学aにおいては古代から近世まで、美学bにおいては近世から近代までを扱います。</p>					
<p>【授業内容】 美学a(1学期)においては、「美学」成立前、古代からルネサンスの美学的理論を扱い、詩を上位とする諸芸術のヒエラルキー／位階概念の成立経緯を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 プラトン 3 アリストテレス 4 プロティノス 5 アウグスティヌス 6 トマス・アキナス 7 ダ・ヴィンチ 8 まとめ <p>美学b(2学期)においては、「美学」成立を可能にした哲学的背景を抑えながら、諸芸術のヒエラルキーがいかに転覆し、今日にも通じる美学・芸術学概念が成立したのか学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 バトウ、デュボス 3 レッシング 4 デイドロ 5 ライプニッツ 6 バウムガルテン 7 カント 8 まとめ 					
<p>【テキスト】 教科書は使用しない。授業中にレジュメを配布する。</p>					
<p>【参考図書】 カロール・タロン＝ユゴン『美学への手引き』上村博訳、白水社、2015年。 小田部胤久『西洋美学史』東京大学出版会、2009年。 井奥陽子『近代美学入門』筑摩書房、2023年。 佐々木健一『美学辞典』東京大学出版会、1995年。</p>					
<p>【成績評価の方法】 平常点(授業内発表)30% 授業後のレポート 70%</p>					

遠隔授業(対面とオンデマンド併用:文学部)				01109	
授業科目名:人文学概説(日本思想史b)			担当教員氏名:本村 昌文		
Introduction to Japanese Intellectual History b					
履修年次 2~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(月曜7・8限)	
<p>【授業の目的】 日本思想史研究において,重要な研究テーマとなる神道・国学について概説する。</p>					
<p>【授業内容】 この授業はメディア授業として実施します。具体的には、すべての授業を対面授業とオンデマンド受講の併用で進めます。オンデマンド受講の出席については,定められた期間内に該当回の教材として用意された資料や動画の閲覧を完了し,「授業での取り組み」を提出することで出席として扱います。オンデマンド受講は,翌週の授業の前日までに資料・動画の視聴を完了してください。授業に関する質問は,「授業での取り組み」に記述してください。</p> <p>1-2:ガイダンス 3-4:『古事記』と『日本書紀』 5-6:伊勢神道と吉田神道 7-8:江戸期の神道(1)林羅山と吉川惟足 9-10:江戸期の神道(2)垂加神道 11-12:国学者の思想(1)本居宣長 13-14:国学者の思想(2)平田篤胤とその後</p>					
<p>【テキスト】 特になし。</p>					
<p>【参考図書】 授業中に指示する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 授業での取り組み 60%、最終レポート 40%</p>					

遠隔授業(ハイブリッド授業:工学部)				01110	
授業科目名:セキュリティ概論			担当教員氏名: 横平 徳美、野上 保之、福島 行信、 五百旗頭 健吾、小寺 雄太		
Introduction to Security					
理工系学部 3 年次以上	2 単位	第3・4学期	2 コマ	50 分×2(月曜 7・8 限)	
<p>【授業の目的】 サイバーフィジカル・ネットワークに渡る情報セキュリティの重要性とそれを実現するための技術に関する深い理解を習得すること。</p>					
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 暗号の歴史と概要 2. 暗号数学 3. 共通鍵暗号とデータ暗号化/公開鍵暗号と認証技術 4. 暗号計算のハードウェア実装 5. 暗号ハードウェアに対する工夫と安全性評価 6. 通信における様々な脅威と安全に通信するための暗号技術 7. データリンク層セキュリティ 8. ネットワーク層セキュリティ(1) 9. ネットワーク層セキュリティ(2) 10. トランスポート層セキュリティ 11. アプリケーション層セキュリティ 12. マルウェア感染と解析 (1) 13. マルウェア感染と解析 (2) 14. メモリ破棄攻撃と対策 (1) 15. メモリ破棄攻撃と対策 (2), アクセス制御 (100 分の授業を 1 回としている) 					
<p>【テキスト】 Web やメールで資料を配布する。</p>					
<p>【参考図書】</p>					
<p>【成績評価の方法】 全 15 回のうち、5 回区切りで小テストやレポート課題を課す。座学 60%、テスト・課題 40%で成績をつける。</p>					

遠隔授業(オンデマンド:教養教育科目)				01111	
授業科目名:現代社会と先端物理学			担当教員氏名:池田 直		
Fruits of Physics in Modern Society					
履修年次 1~2	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 5・6 限)	
<p>【授業の目的】 物理学が我々の文明・生活にどのような場面で利用されているのかを知るとともに、現代の物理学の最先端に触れ、その教養知識を得る。</p>					
<p>【授業内容】 このところネット授業を実施していました。すると文法系の学生に履修しやすい物理科目ということで、大変多くの学生さんが履修するようになりました。このため 25 年度もネット経由で授業する予定です。授業は、moodle 経由で、pdf 化したテキスト、スライド(宿題つき)を配布します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入・物理学で用いられる単位系について 2. 時間や大きさのスケールについて 3. エネルギーはどこで利用されているか 4. エネルギー・力学入門 5. 電気の世界 6. 電磁波とはなにか 7. 原子の世界 8. 安定な原子と放射能 9. 波の性質 10. 量子の世界のふしぎ 11. 最先端の大型研究施設について 12. 大型放射光施設 SPring8 入門 13. 大型中性子施設 J-Parc 入門 14. 世界最高のニュートリノ施設カミオカンデ入門 15. 自然エネルギーの大きさ 16. 自然エネルギーをどう使うか 					
<p>【テキスト】 授業のときに配布する資料を用います。</p>					
<p>【参考図書】 10[X]の世界：素粒子から銀河まで、上田剛慈著、彩図社 日常の疑問を物理で解き明かす：スカイツリーの展望台からどこまで見える?携帯電話をアルミホイルで包むとどうなる?、原康夫、右近修治著、ソフトバンククリエイティブ</p>					
<p>【成績評価の方法】 出席 50 点、レポート 50 点 出席は、毎回の授業ごとに資料をダウンロードしてもらいますが、ダウンロード完了後に、完了のボタンを押してください。完了ボタンを押さないと、出席が集計されませんので、気をつけてください。</p>					

遠隔授業(全学共通科目)				01112	
授業科目名:キャンパスライフ不適應への対策講座			担当教員氏名:原田 新、池谷 航介		
University Adjustment Seminar					
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	1コマ	50 分×2(曜日・時限未定)	
<p>【授業の目的】 高校までの学校段階とは異なり、大学では学業面を始め大学生活の様々な面で自主性や自己管理が求められる。特に大学に入学したばかりの1年生は、大学という新しい環境への適応に難しさを持つ場合が多い。本授業の目的は、大学生活の困難さ低減に役立つスキルの向上を促すことで、受講者の高大移行や大学生活の適応に寄与することである。</p>					
<p>【授業内容】 本授業では、大学生活で生じる問題や困難さを減らす上で役立つスキルの知識を学ぶと共に、自身で演習を行う。なお、本授業は、オンデマンド授業の形で実施する。毎週、授業の教材動画をアップするので、それを任意の時間に視聴してもらった上で、その週のうちに課題を提出してもらおう予定である。</p> <p><授業計画></p> <p>1 週目:大学生活で何に困りやすいのか 2 週目:大学特有の社会常識 3 週目:資源の活用(ICT 機器) 4 週目:資源の活用(援助要請) 5 週目:自己管理(時間管理、タスク管理) 6 週目:雑談スキル 7 週目:アサーションスキル 8 週目:気持ちの切り替え</p>					
<p>【テキスト】 無し。毎回パワーポイントの資料を配布します。</p>					
<p>【参考図書】 適時、紹介します。</p>					
<p>【成績評価の方法】 レポート 44%、提出物 56%とし、総合評価を行う。</p>					

・対面授業科目

対面授業(文学部)				01001
授業科目名:人文学概説(哲学1)			担当教員氏名:植村 玄輝	
Introduction to Philosophy 1				
履修年次 2	2 単位	第1・2学期	1コマ	50分×2(金曜5・6限)
<p>【授業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証を分析し評価するための基礎スキルを手に入れる。 ・現代哲学の基本的な知識を獲得する。 ・哲学の文献を読む習慣を身に付ける。 				
<p>【授業内容】</p> <p>この授業では、現代哲学がどのような営みであるのかを、いくつかのトピックに話題を絞って概説する。毎回の授業では、表題として掲げられている問いについて、(1)それがいったいどのような問いなのか、(2)その問いへの回答になる立場にはどのようなものがあるのか、(3)その問いがなぜ興味深いのかを中心に解説する。したがってこの授業では、現代のさまざまな哲学者の思想を紹介するというよりも、個別の哲学の問題に対してどのような主張がなされているのか、それらの主張にどのような論証が与えられているのかをはっきりさせることに重点が置かれることになる。</p>				
<p>【スケジュール】</p> <p>第1回:イントロダクション／穴は回るのか？(1) 第2回:穴は回るのか？(2) 第3回:私たちは他人の心について知ることができるのか？(1) 第4回:私たちは他人の心について知ることができるのか？(2) 第5回:私たちは何を見ているのか？(1) 第6回:私たちは何を見ているのか？(2) 第7回:ここまでの授業に関するQ&A 第8回:心を持つロボットを作ることにはできるのか？(1) 第9回:心を持つロボットを作ることにはできるのか？(2) 第10回:私たちは自由意志にもとづいて行為しているのか？(1) 第11回:私たちは自由意志にもとづいて行為しているのか？(2) 第12回:幸福とは何か？(1) 第13回:幸福とは何か？(2) 第14回:ここまでの授業に関するQ&A／まとめ</p>				
<p>【テキスト】</p> <p>特になし</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>適宜紹介する。主要なものについては、岡山大学のシラバスで当授業を検索すれば見ることができる。</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>Moodle 上での小テスト(30%)および期末レポート(70%)で評価する。</p>				

対面授業(文学部)				01002
授業科目名:人文学講義(哲学)			担当教員氏名:竹島 あゆみ	
Lecture on Philosophy				
履修年次 2~4	2単位	第1・2学期	1コマ	50分×2(木曜5・6限)
【授業の目的】 哲学及び隣接領域における「和解」概念について概観する。				
【授業内容】 第1回:イントロダクションー「和解」とは何か 第2回:キリスト教神学における和解・1 第3回:キリスト教神学における和解・2 第4回:若きヘーゲルにおける和解・1 第5回:若きヘーゲルにおける和解・2 第6回:『精神現象学』における和解・1 第7回:『精神現象学』における和解・2 第8回:『精神現象学』における和解・3 第9回:法哲学における和解・1 第10回:法哲学における和解・2 第11回:現代における和解・1 第12回:現代における和解・2 第13回:現代における和解・3 第14回:まとめ				
【テキスト】 なし				
【参考図書】 授業中に指示する。				
【成績評価の方法】 授業中に行うフィードバック記入40%、期末レポート60%。				

対面授業(文学部)				01003	
授業科目名:人文学概説(芸術学)			担当教員氏名:本田 晃子		
Introduction to Arts					
履修年次 2~4	2単位	第3・4学期	1コマ	50分×2(月曜3・4限)	
<p>【授業の目的】 本授業では、映画の撮影方法から演出、編集、構成までをとりあげ、映画作品がどのような意図に基づいてどのように組み立てられているのかを学んでいきます。毎回教員の解説を交えながら作品を視聴し、授業の終わりに課題に取り組んでもらいます。これらの作業を通して、映画研究で用いられる専門用語や概念を駆使し、独力で映画作品を分析できるようになることを目指します。</p>					
<p>【授業内容】</p> <p>◆3学期 第1回:導入 第2回:ショット① 第3回:ショット② 第4回:音声 第5回:時間 第6回:編集 第7回:特殊撮影(SFX) 第8回:期末テスト</p> <p>◆4学期 第1回:導入 第2回:俳優と演技 第3回:セット① 第4回:セット② 第5回:光と色 第6回:小道具① 第7回:小道具② 第8回:期末テスト</p>					
<p>【テキスト】 なし</p>					
<p>【参考図書】 ジャック・オーモン『映画理論講義:映像の理解と探究のために』武田潔訳、勁草書房、2000年、ウォーレン・バックランド『フィルムスタディーズ入門:映画を学ぶ楽しみ』前田茂、要真理子訳、晃洋書房、2007年、デイヴィッド・ボードウェル、クリスティン・トンプソン『フィルム・アート:映画芸術入門』飯岡詩朗他訳、名古屋大学出版会、2007年、マイケル・ライアン、メリッサ・レノス『Film analysis:映画分析入門』田畑暁生訳、フィルムアート社、2014年</p>					
<p>【成績評価の方法】 平常点(毎回の課題の成績)50%:期末テスト50%</p>					

遠隔授業(文学部)				01004	
授業科目名:人文学講義(社会学a)			担当教員氏名:齋藤 圭介		
Lecture on Sociology a					
履修年次 2~4	1単位	第1学期	1コマ	50分×2(火曜5・6限)	
<p>【授業の目的】 先行研究にかんする知識を習得すると同時に、議論の展開の仕方やデータの処理方法などを身につける。</p>					
<p>【授業内容】 現代社会における生殖をめぐる諸事象を、とりわけジェンダーと公正という2つの観点から考察する。 ※第1回目にオリエンテーションを行なう。 1-2. 生殖と男性をめぐる社会学的研究の系譜 3-4. 避妊をめぐるジェンダー研究 5-6. 育児をめぐるジェンダー研究 7. 生殖補助医療技術をめぐるジェンダー研究 8. 生殖論を再構築するために</p>					
<p>【テキスト】 なし</p>					
<p>【参考図書】 ISBN 4778318781 書名 射精責任 著者名 ガブリエル・スタンリー・ブレア 著・文・その他,村井 理子 翻訳,齋藤 圭介 解説,ガブリエル・スタンリー・ブレア,村井 理子 出版社 太田出版 出版年 2023-</p>					
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組み 50% 期末レポート 50%</p>					

対面授業(文学部)				01005	
授業科目名:社会学入門			担当教員氏名:都島 梨紗		
Introduction to Sociology					
履修年次 全学年	1 単位	第2学期	1コマ	50 分×2(火曜3・4限)	
<p>【授業の目的】 ポスト工業社会に至る戦後社会の歴史を社会学の視座から俯瞰したうえで、現在の社会問題に対し社会学に何ができるのかを考える。</p>					
<p>【授業内容】 第1回 日本型雇用のしくみ(1)日本型雇用の基礎 第2回 日本型雇用のしくみ(2)日本型雇用の功罪 第3回 工業化と社会問題(1)環境問題とはなにか 第4回 工業化と社会問題(2)環境問題と専門知 第5回 工業化と社会問題(3)環境問題と暮らし 第6回 ポスト工業社会とあらたな社会問題(1)ポスト工業化とはなにか 第7回 ポスト工業社会と社会問題(2)まとめ</p>					
<p>【テキスト】</p>					
<p>【参考図書】 『日本社会のしくみ：雇用・教育・福祉の歴史社会学』小熊英二著、2019年、講談社 『水俣病闘争史』米本浩二著、2022年、河出書房新社 『社会を結びなおす：教育・仕事・家族の連携へ』、本田由紀著、2014年、岩波書店</p>					
<p>【成績評価の方法】 授業への参加度(25%)、中間レポート(25%)、期末レポート(50%)により総合的に評価する。詳細については、第1回目の授業冒頭で説明する。</p>					

対面授業(教育学部)				01006	
授業科目名:中等社会科・公民科指導法 I A			担当教員氏名:桑原 敏典		
Secondary Social Studies(Civics)Class Method I A					
履修年次 2~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(火曜7・8限)	
<p>【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 1. 中等教育段階における中等社会科・公民科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できるようになる。 2. 中等教育段階における中等社会科・公民科の発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。 中等社会科・公民科指導法基礎の学びと、自らの学習者としての学びの経験に基づく「教える」という営みの意味を捉え直し、中等社会科・公民科の教科の特質と学習指導の意義を認識することを目的とする。</p>					
<p>【授業内容】 I. 中等社会科・公民科の目標の再考と授業デザインの方向性の確認 第1回 中等社会科教育の目標論の再考 第2回 公民科教育の目標論の再考 第3回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科探究学習論からの示唆) 第4回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科意思決定学習論からの示唆) II. 授業構想と模擬授業 第5回 中等社会科公民的分野政治学習の教材研究 第6回 中等社会科公民的分野政治学習の学習指導の構想 第7回 中等社会科公民的分野経済学習の教材研究 第8回 中等社会科公民的分野経済学習の学習指導の構想 第9回 公民科公共の教材研究 第10回 公民科公共の学習指導の構想 第11回 公民科倫理、政治・経済の教材研究 第12回 公民科倫理、政治・経済の学習指導の構想 III. 中等社会科・公民科学習指導論の構築 第13回 中等社会科学習指導論の構築 第14回 公民科学習指導論の構築 試験</p>					
<p>【テキスト】 ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>					
<p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。</p>					
<p>【成績評価の方法】 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>					

対面授業(教育学部)				01007	
授業科目名:中等社会科・公民科指導法ⅡA			担当教員氏名:桑原 敏典		
Secondary Social Studies(Civics)Teaching MethodsⅡA					
履修年次 2～4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(火曜7・8限)	
<p>【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 1. 一般的な中学校社会科・公民科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 中学校社会科・公民科授業の分析視点と方法を理解する。 3. 様々な中学校社会科・公民科授業実践の分析を通して、それらの授業構成の理論と方法を把握する。</p>					
<p>【授業内容】 第1回:公民科教育の歴史的変遷と現状 第2回:公民科教育の課題 第3回:学習指導要領中学校社会科・公民科の目標 第4回:学習指導要領中学校社会科各分野・公民科各科目の目標 第5回:学習指導要領中学校社会科・公民科の全体構造 第6回:学習指導要領中学校社会科・公民科の内容 第7回:学習指導要領公民科各科目の内容 第8回:学習指導要領中学校社会科・公民科(公共)の指導上の留意点 第9回:学習指導要領公民科(倫理)(政治・経済)の指導上の留意点 第10回:中学校社会科の授業構成原理 第11回:公民科の授業構成原理 第12回:中学校社会科の授業分析 第13回:公民科(公共)の授業分析 第14回:公民科(倫理)の授業分析 第15回:公民科(政治・経済)の授業分析 第16回:試験</p>					
<p>【テキスト】 ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>					
<p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。</p>					
<p>【成績評価の方法】 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>					

対面授業(教育学部)				01008	
授業科目名:GCED(グローバル・シティズンシップ教育)論 I			担当教員氏名:桑原 敏典		
GCED I			GCED I		
履修年次 2~4	1単位	第3学期	1コマ	50分×2(月曜1・2限)	
<p>【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 (1)グローバル・シティズンシップ教育のカリキュラムについて理解する。 (2)グローバル・シティズンシップ教育の学習指導と評価に関する基礎的な知識とスキルを身に付ける。 (3)グローバル・シティズンシップ教育の課題を理解する。</p>					
<p>【授業内容】 第1回 グローバル・シティズンシップ教育とは何か 第2回 日本の教育政策とグローバル・シティズンシップ教育 第3回 ユネスコにおけるグローバル・シティズンシップ教育普及の取り組み 第4回 ユネスコがめざすグローバル・シティズンシップ教育の実際 第5回 ヨーロッパのシティズンシップ教育カリキュラムの実際 第6回 ヨーロッパのシティズンシップ教育カリキュラムの分析 第7回 米国のシティズンシップ教育カリキュラムの実際 第8回 米国のシティズンシップ教育カリキュラムの分析 第9回 日本におけるシティズンシップ教育の導入 第10回 日本におけるシティズンシップ教育の展開 第11回 グローバル社会におけるシティズンシップ教育の特質 第12回 グローバル社会におけるシティズンシップ教育の課題 第13回 シティズンシップ教育の評価の方法 第14回 シティズンシップ教育の評価の課題 第15回 教師のためのグローバル・シティズンシップ教育 試験</p>					
<p>【テキスト】 テキストは用いない</p>					
<p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。</p>					
<p>【成績評価の方法】 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>					

対面授業(教育学部)				01009	
授業科目名:中等社会科・公民科指導法基礎 A			担当教員氏名:桑原 敏典		
Secondary Social Studies(Civics)Class Method Basic A					
履修年次 1～4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(火曜3・4限)	
<p>【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 1. 一般的な社会科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 探求としての社会科授業構成のねらいと方法を理解する。 3. 社会科授業分析や指導案作成のための基礎的な力を養う。</p>					
<p>【授業内容】 I. 中等社会科・公民科の目標の再考と授業デザインの方向性の確認 第1回 中等社会科教育の目標論の再考 第2回 公民科教育の目標論の再考 第3回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科探究学習論からの示唆) 第4回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科意思決定学習論からの示唆) II. 授業構想と模擬授業 第5回 中等社会科公民的分野政治学習の教材研究 第6回 中等社会科公民的分野政治学習の学習指導の構想 第7回 中等社会科公民的分野経済学習の教材研究 第8回 中等社会科公民的分野経済学習の学習指導の構想 第9回 公民科公共の教材研究 第10回 公民科公共の学習指導の構想 第11回 公民科倫理、政治・経済の教材研究 第12回 公民科倫理、政治・経済の学習指導の構想 III. 中等社会科・公民科学習指導論の構築 第13回 中等社会科学習指導論の構築 第14回 公民科学習指導論の構築 試験</p>					
<p>【テキスト】 ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>					
<p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。</p>					
<p>【成績評価の方法】 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>					

対面授業(法学部)				01010
授業科目名:法哲学			担当教員氏名:大森 秀臣	
Philosophy of Law				
履修年次 3~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(火曜5・6限)
<p>【授業の目的】 本講義は、「法とは何か」、「法的なものの考え方の特徴とは何か」など、法の根源や全体像、法的思考にかかわる様々な問いについて解説する。大きな時代変革に対応する法的取り組みを構想するために、法哲学的な思考を身に着けることは不可欠である。法への根源的な問いを考える能力や、法への多角的な視点を身につけることを目的とする。</p>				
<p>【授業内容】 第1回:ガイダンス 第2回:法的思考の特質 第3回:法とは何か—法=強制説の諸問題 第4回:法とは何か—二つの法体系論 第5回:法規範—義務賦課規範と権能付与規範、裁決規範と行為規範 第6回:法規範—ルールと原理 第7回:法の妥当性—法学的妥当論と社会学的妥当論 第8回:法の妥当性—心理学的妥当論と哲学的妥当論 第9回:法と道徳 第10回:自然法論と法実証主義 第11回:悪法問題 第12回:ハート対フラウ論争 第13回:法による道徳の強制 第14回:パターナリズム 期末試験(レポート)</p>				
<p>【テキスト】 とくに指定はしないが、以下の参考書入手する方が望ましい。</p>				
<p>【参考図書】 瀧川裕英, 宇佐美誠, 大屋雄裕『法哲学』(有斐閣、2014年) 平野仁彦, 亀本洋, 服部高宏著 (有斐閣、2002年) 酒匂一郎『法哲学講義』(成文堂、2019年)</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(レポート)によって成績評価する。</p>				

対面授業(理学部)				01011	
授業科目名:一般化学1			担当教員氏名:鈴木 孝義		
General Chemistry 1					
履修年次 1~4	1単位	第1学期	2コマ	50分×2(金曜1・2限)	
<p>【授業の目的】 物質を理解するため、構成する要素及び化学結合に関する知識を習得する。</p>					
<p>【授業内容】 化学で基本となる原子や分子の性質、化学結合に関する基本的な内容を中心に概説する。 第1回 化学と物質 第2回 原子の構造 1:原子スペクトル 第3回 原子の構造 2:電子軌道 第4回 原子の構造 3:元素の周期性 第5回 化学結合 1:イオン結合と共有結合 第6回 化学結合 2:分子軌道 第7回 化学結合 2:混成軌道、水素結合 第8回 学期末試験</p>					
<p>【テキスト】 久保園芳博, 山崎岳共編著 「大学生の一般化学」(ISBN:978-4563046255) 培風館</p>					
<p>【参考図書】 増田芳男・澤田清 編著「理系のための基礎化学」(化学同人)</p>					
<p>【成績評価の方法】 学期末試験(50%)、レポート(20%)、小テスト(原則として毎授業で演習として行う:30%)</p>					

対面授業(理学部)				01012	
授業科目名:一般化学2			担当教員氏名:武安 伸幸		
General Chemistry 2					
履修年次 1~4	1単位	第2学期	2コマ	50分×2(金曜1・2限)	
<p>【授業の目的】 自然科学系全般で必要とされる化学の基礎的な概念・知識を学び, 化学的な観点から物事を考えることができる力を身につける。</p>					
<p>【授業内容】 熱力学, 化学平衡, 反応速度論など, 化学を理解するための基礎的な概念を講義する。 第1週 化学熱力学(1) 第2週 化学熱力学(2) 第3週 溶液内の反応と化学平衡 第4週 反応速度論 第5週 電気化学 第6週 有機化学 第7週 化学と生命現象 第8週 最終試験</p>					
<p>【テキスト】 久保園芳博, 山崎岳共編著 「大学生の一般化学」(ISBN:978-4563046255) 培風館</p>					
<p>【参考図書】</p>					
<p>【成績評価の方法】 成績はレポート(40点)、最終試験 60点をもとに評価する。</p>					

対面授業(歯学部)				01013	
授業科目名: 痛みの科学			担当教員氏名: 宮脇卓也・他		
Essays on pain					
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(月曜 1・2 限)	
<p>【授業の目的】 痛みはそれを感じる生体への警告信号であり, 誰もが日常生活で経験するものです。しかし, それが過剰で持続すれば生活を困難にする場合も生じます。逆に, 生活習慣が痛みの原因になることもあります。本授業では, 痛みの種類と発生機序, 様々な病態における痛みの特徴, および痛みを制御する方法について理解し, 日常生活における痛みと健康との関連について考察することを目的としています。</p>					
<p>【授業内容】 第1回: 痛みの科学概説(1) 第2回: 痛みの科学概説(2) 第3回: 痛みの神経解剖生理学(1) 第4回: 痛みの神経解剖生理学(2) 第5回: 痛みの神経薬理学(1) 第6回: 痛みの神経薬理学(2) 第7回: 痛みの臨床(1) 第8回: 痛みの臨床(2) 第9回: 痛みの臨床(3) 第10回: 痛みの臨床(4) 第11回: 痛みの臨床(5) 第12回: 痛みの臨床(6) 第13回: 痛みの臨床(7) 第14回: 痛みの臨床(8) 第15回: 痛みの科学のまとめ 第16回: 予備日</p>					
<p>【テキスト】 なし</p>					
<p>【参考図書】 特にありません。</p>					
<p>【成績評価の方法】 出席並びにレポート又は小テストによる各担当教員の成績評価を毎回行い, これを集計して総合評価が 60 点以上を合格とします。レポート又は小テストを課すことから, 基本的には毎回の出席を合格の条件とします。</p>					

対面授業(工学部)			01014	
授業科目名:先端半導体テクノロジー入門			担当教員氏名: 紀和 利彦、平木 英治、鶴田 健二	
Introduction to advanced semiconductor technology				
履修年次 1	1 単位	夏季集中	日程・講義室は別途周知	
<p>【授業の目的】 2030 年に 1 兆米ドル(約 157 兆円)の市場に成長する見込みの次世代半導体は、電機だけでなく、AI-IoT、輸送機械をはじめとするあらゆる現代産業の基盤技術になっている。本授業では、企業の現役研究者をゲスト講師として迎え、このテクノロジーを支える技術と応用の状況と共に、どのように各種産業と関連して成り立っているのかを理解する。ひいては、受講者が高年次で履修する専門科目と社会との関係性を理解する上で必須の素養を提供する。</p>				
<p>【授業内容】 1 半導体はなぜざわつくのか? = サプライチェーン・バリューチェーン 2 半導体を用いた各種デバイス(ロジック/メモリ/パワー/光/TFT 液晶/OLED) 3 ゲームの nVIDIA がなぜもてる? ソフトバンクはなぜ ARM に執着した? 微細化の利益と難しさ 4 新幹線も特斯拉も半導体??? 5 日本人ノーベル賞受賞者 3 名が拓いた光ビジネスとその応用 6 日本の隠れた強み = 半導体製造装置・半導体素材 7 ウェハプロセス & ファウンダリビジネス 8 実装/チップレット & OSAT ビジネス</p>				
<p>【テキスト】 資料を PDF ファイル等で配布する</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 レポート(100%)</p>				

対面授業(農学部)				01015																								
授業科目名:農場体験実習			担当教員氏名: 福田 文夫																									
Experience of Farm Practice																												
履修年次 1~4	1単位	夏季集中	集中3日間	学研災加入を履修の条件とする																								
<p>【授業の目的】 農学部附属山陽圏フィールド科学センターにおいて、実際の農場での作業や運営に参画し、土や作物、家畜に触れて、農業の面白さや奥深さについて理解を深める。</p>																												
<p>【授業内容】 1. 受講を希望する学生は事前に担当教員(ffukuda@(@以下は okayama-u.ac.jp))に直接メールにて問い合わせして下さい(希望人数によっては抽選になります)。 8月1日(金)17:00より、農学部第3講義室においてオリエンテーションを行い、履修の確認と注意事項を説明します。</p> <p>2. フィールド科学センターにおいて、夏期休暇の3日間(9月24、25、26日)、以下のような要領で実習を行います。</p> <p>1) 野菜部門(岡山農場)、果樹部門(岡山農場)、水田部門(岡山農場)、畜産部門(津高牧場)において、教員・技術職員とともに作業を行い、農業技術の体系を習得して、その必要性、合理性を理解するとともに、農業の面白さや奥深さを感じてもらう。</p> <p>2) 実習日程(詳細については、天候などの条件他で、時間帯を含め変更となる可能性がある)</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">9月24日(水)</th> <th style="text-align: left;">9月25日(木)</th> <th style="text-align: left;">9月26日(金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30-11:45 センター紹介</td> <td>9:00-10:15 果樹園管理 1</td> <td>9:00-9:30 移動(津高牧場)</td> </tr> <tr> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>10:30-11:45 畑雑草の管理</td> <td>9:45-10:45 草地の管理</td> </tr> <tr> <td>13:15-15:00 水田の管理</td> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>11:00-12:00 和牛の管理</td> </tr> <tr> <td>15:15-17:00 野菜の管理 1</td> <td>13:15-15:00 ブドウの収穫</td> <td>12:00-12:30 移動(岡山農場)</td> </tr> <tr> <td>17:00 解散</td> <td>15:15-16:00 果樹園管理 2</td> <td>12:30-14:00 昼食(生協等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16:00-17:00 ブドウの評価</td> <td>14:00-16:00 野菜の管理2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:00 解散</td> <td>16:00-16:30 着替え、解散</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 終了後、指示されたレポートは、Moodleにて担当教員へ提出する。</p>					9月24日(水)	9月25日(木)	9月26日(金)	10:30-11:45 センター紹介	9:00-10:15 果樹園管理 1	9:00-9:30 移動(津高牧場)	11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 畑雑草の管理	9:45-10:45 草地の管理	13:15-15:00 水田の管理	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理	15:15-17:00 野菜の管理 1	13:15-15:00 ブドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)	17:00 解散	15:15-16:00 果樹園管理 2	12:30-14:00 昼食(生協等)		16:00-17:00 ブドウの評価	14:00-16:00 野菜の管理2		17:00 解散	16:00-16:30 着替え、解散
9月24日(水)	9月25日(木)	9月26日(金)																										
10:30-11:45 センター紹介	9:00-10:15 果樹園管理 1	9:00-9:30 移動(津高牧場)																										
11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 畑雑草の管理	9:45-10:45 草地の管理																										
13:15-15:00 水田の管理	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理																										
15:15-17:00 野菜の管理 1	13:15-15:00 ブドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)																										
17:00 解散	15:15-16:00 果樹園管理 2	12:30-14:00 昼食(生協等)																										
	16:00-17:00 ブドウの評価	14:00-16:00 野菜の管理2																										
	17:00 解散	16:00-16:30 着替え、解散																										
<p>【テキスト】 特に使用せず、プリント・プロジェクター等を適宜用いる。</p>																												
<p>【参考図書】 応用植物科学栽培実習マニュアル、森源治郎ほか監修、養賢堂、東京(2000)ISBN4-8425-0058-1</p>																												
<p>【成績評価の方法】 出席と実習に対する取り組み態度及びレポートの内容を重視して評価する。</p>																												

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01016
授業科目名: Introductory Mathematics I			担当教員氏名: Md. Azhar Uddin	
Introductory Mathematics I			※英語による授業	
履修年次 1~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(月曜5・6限)
<p>【授業の目的】 This subject is designed for students who enter university without a strong background in mathematics. This course is an introductory mathematics course which will cover basic skills in numeracy, algebra, linear function and graphing. The course aims to provide a sound foundation in basic mathematical skills and an introduction to their application to problem solving.</p>				
<p>【授業内容】 1 Algebra of factorials and quadratic functions 2. Exponents and logarithms 3. Polynomials 4. Trigonometric functions 5. Graphical methods 6. Sequences and series 7. Binomial expansion 8. Final examination</p> <p>完全に英語による授業</p>				
<p>【テキスト】 N/A</p>				
<p>【参考図書】 Lecture PowerPoint file and reference books in pdf will be uploaded to Moodle.</p>				
<p>【成績評価の方法】 Regular attendance. Exercises and final test are combined for grading.</p>				

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01017
授業科目名: Introductory Mathematics II			担当教員氏名: 唐 健	
Introductory Mathematics II			※英語による授業	
履修年次 1~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(月曜7・8限)
<p>【授業の目的】 In this course, we teach mathematics on trigonometry, vectors, sequences, calculus, and statistics. With these mathematics, you can pursue college-level learning on mathematics.</p>				
<p>【授業内容】 1. Further trigonometry 2. Vectors 3. Sequences 4. Differentiation 5. Integration 6. Statistical data 7. Probability 8. Final examination</p> <p>完全に英語による授業</p>				
<p>【テキスト】 N/A</p>				
<p>【参考図書】 Lecture powerpoint file and reference books in pdf will be uploaded to Moodle.</p>				
<p>【成績評価の方法】 Exercises on Moodle are necessary after every class. Exercises and final test are combined for grading.</p>				

対面授業(全学共通科目)				01018	
授業科目名:健康・スポーツ科学 C			担当教員氏名::榎本 翔太 :鈴木 久雄		
Health and Sports Sciences					
履修年次 1~4	1単位	通年	1コマ	水曜 18:30~20:20	
<p>【授業の目的】 科学的な視点から運動やスポーツ, 健康について学び, スポーツ実践や健康づくりに役立てる。 また, 個々人が自ら設定した課題を探求し, 理論と実践の融合をはかる。</p>					
<p>【授業内容】 I 4月9日(水) 18:30~オリエンテーション(岡山大学一般教育棟 D 棟 1階スポーツ支援室にて) II 下記の講義 1)~8)より7回以上受講すること。 場所は岡山大学一般教育棟 E 棟 E11 教室 1) 4月16日(水)スポーツと心臓 2) 5月14日(水)スポーツと栄養 ~スポーツするならこう食べよう!~ 3) 6月25日(水)スポーツから学ぶ人間力 4) 7月16日(水)上肢スポーツ障害 5)10月22日(水)これだけ知ってりゃ、だいたいOK! スポーツ外傷・障害 6)11月12日(水)メンタルヘルスに資するトレーニングをスポーツに生かす 7)12月17日(水)スポーツ歯学 8) 1月21日(水)スポーツと法 III 1月21日(水) 講座後に まとめ(岡山大学一般教育棟 D 棟 1階スポーツ支援室にて)</p>					
<p>【テキスト】 テキストは使用しない。毎回, 資料およびレポート用紙を配布する。</p>					
<p>【参考図書】 特になし</p>					
<p>【成績評価の方法】 7回分の講義レポート 80%, ディスカッション 20%より評価する。</p>					

対面授業(教養教育科目)			01019
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤
Intermediate Korean			
履修年次 1~4	1単位	1学期	1コマ 火 5.6 時限 各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が 認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書(様式は問いません。)を添えて提出 してください。 1学期と2学期をセットで受講するこ とが望ましい。
【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。			
【授業内容】 第1回 : オリエンテーション 第2~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験			
【テキスト】 プリント			
【参考図書】			
【成績評価の方法】 期末試験(40%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。			

対面授業（教養教育科目）				01020
授業科目名：韓国語中級				担当教員氏名：陳 南澤
Intermediate Korean				
履修年次 1～4	1単位	2学期	1コマ 火 5・6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書（様式は問いません。）を添えて提 出してください。 1学期と2学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<p>【授業の目的】</p> <p>韓国語の総合的学習（より多様な表現を学び、作文などを行う）と、韓国文化に関する理解を深める。</p> <p>韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。</p> <p>韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1～7回：プリントによる韓国語の文型や単語の習得： 各課ごとに単語テストを行う。</p> <p>第8回：最終試験</p>				
<p>【テキスト】</p> <p>プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験（40%）、小テスト・授業への取り組み・出席状況（60%）で、総合的に評価する。</p>				

対面授業（教養教育科目）				01021
授業科目名：韓国語中級				担当教員氏名：陳 南澤
Intermediate Korean				
履修年次 1～4	1単位	3学期	1コマ 火 5.6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書（様式は問いません。）を添えて提 出してください。 3学期と4学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<p>【授業の目的】</p> <p>韓国語の総合的学習（より多様な表現を学び、作文などを行う）と、韓国文化に関する理解を深める。</p> <p>韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。</p> <p>韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1回：オリエンテーション</p> <p>第2～7回：プリントによる韓国語の文型や単語の習得： 各課ごとに単語テストを行う。</p> <p>第8回：最終試験</p>				
<p>【テキスト】</p> <p>プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験（40%）、小テスト・授業への取り組み・出席状況（60%）で、総合的に評価する。</p>				

対面授業（教養教育科目）				01022
授業科目名：韓国語中級				担当教員氏名：陳 南澤
Intermediate Korean				
履修年次 1～4	1単位	4学期	1コマ 火 5・6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書（様式は問いません。）を添えて提 出してください。 3学期と4学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<p>【授業の目的】</p> <p>韓国語の総合的学習（より多様な表現を学び、作文などを行う）と、韓国文化に関する理解を深める。</p> <p>韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。</p> <p>韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1～7回：プリントによる韓国語の文型や単語の習得： 各課ごとに単語テストを行う。</p> <p>第8回：最終試験</p>				
<p>【テキスト】</p> <p>プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験（40%）、小テスト・授業への取り組み・出席状況（60%）で、総合的に評価する。</p>				

対面授業(全学共通科目)				01023	
授業科目名:数理・データサイエンスの基礎			担当教員氏名:國米 充之		
Basic Mathematical and Data Sciences			定員 10名		
履修年次 1~4	1単位	第3学期	1コマ	50分×2(月曜3・4限)	
【授業の目的】 データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する					
【授業内容】 滋賀大学開発教材(ds-mooc 教材)を活用し、以下の内容を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 現実の課題に対するデータサイエンスの役割を理解 ● データの基本的な分析方法を理解し、コンピュータを用いて実践 ● データサイエンスの応用事例を知り、機械学習の概要や基礎を理解 なお、PC を用いた確認テストや課題作成等を実施するので、用意して授業に臨むこと			授業計画: <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会におけるデータサイエンス 2. データサイエンスの事例と情報倫理 3. コンピュータを用いたデータ分析基礎(1) 4. データ分析の基礎(2)と分析における注意点 5. 機械学習の概要基礎・利用事例 6. ニューラルネットワークの概要と今後 生成 AI について 7. 経済・経営分野におけるデータ活用の事例 (計画の順番が前後することがある) 		
【テキスト】 “大学生のためのデータサイエンス(I)オフィシャルスタディノート改訂版”, “大学生のためのデータサイエンス(II)【機械学習】 オフィシャルスタディノート”, 日本統計協会(滋賀大学データサイエンス学部編)					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 滋賀大学開発教材による確認テスト、岡大 Moodle による小テスト、ならびに講義内容に関する演習課題の提出(評価)にて、総合的に評価する。					

対面授業(全学共通科目)				01024
授業科目名:安全衛生入門			担当教員氏名: 中西 真、寺東 宏明、岩崎 良章、 崎田 真一、岡本 崇	
Introduction of Safety and Health				
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	1コマ	50 分×2(月曜 5・6 限)
<p>【授業の目的】 どのような職種においても仕事における安全衛生管理は必要なものである。その管理は産業医や衛生管理者、作業環境測定士など多くの専門家によって担われているが、個々の労働者の自覚と対応もまた必須である。本講義の目的は職場の安全衛生管理がどのように維持されているのかについて知ることであり、このことは仕事をする際の自分と周囲の安全と健康を守るために重要である。</p>				
<p>【授業内容】 職場の安全衛生管理は労働者が健康に仕事をする上で必要なものであり、法令でも規定されている。本講義では安全衛生に関する基本的な知識を、各トピックの専門家による講義・演習によって習得することを目的とする。 講師は学内の衛生管理者、放射線取扱主任者、産業医等を招聘し、安全衛生管理の仕組み、関連法令・規制、化学物質管理、健康管理、放射線安全管理等をテーマにする。 到達目標は、①安全衛生管理の仕組みについて理解する、②安全衛生管理に関連する法令・規制について理解する、③安全衛生管理に関連する資格について理解する、④日本の安全衛生管理の状況について理解する、⑤職場において安全衛生管理の知識を持って正しい行動が出来る、である。 授業は全 8 回で、内容は①ガイダンス、安全衛生の概要、②作業環境要素、③作業管理、安全衛生関連法令、④作業環境管理、⑤放射線安全管理、⑥化学物質管理と環境管理、⑦健康管理、⑧期末試験、である。</p>				
<p>【テキスト】 指定しない。</p>				
<p>【参考図書】 講義中に紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験と講義中の小テストの合算で評価する。100 点満点で、講義中の小テストは各 10 点で回数は未定。期末試験の配点は小テストの実施回数で変動する。</p>				

対面授業(全学共通科目)				01025
授業科目名:生命保険を考える			担当教員氏名:山本 一輝	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1~4	1単位	第1学期	1コマ	50分×2(月曜5・6限)
<p>【授業の目的】 生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p>【授業内容】 ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習(下記) 1. 社会保障制度の概要,生活設計とリスク管理 2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の歴史・役割 3. 生命保険契約の基本, 消費者保護や利便性向上の取組 4. 生命保険会社の組織・業務・社会的役割 等</p> <p>○また実践的な作業も実施(下記) 1. 生命保険契約における保険料の算出根拠 2. 必要保障額の算出</p>				
<p>【テキスト】 ・授業レジュメを資料配布する。 ・字幕のないDVDを使用することがあります。</p>				
<p>【参考図書】 書名: 図説生命保険ビジネス第2版 著者名: 山本祥司/川野眞一郎、他 出版社: 一般社団法人金融財政事情研究会 出版年度: 2022</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね30点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね70点程度)を総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01026
授業科目名:生命保険を考える			担当教員氏名:山本 一輝	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(金曜5・6限)
<p>【授業の目的】 生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p>【授業内容】 ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習。(下記参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障制度の概要 2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の果たす役割 3. 生命保険契約のしくみ 4. 生命保険会社の組織・業務 等 <p>○また実践的な作業も実施。(下記参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命保険契約における保険料の算出根拠 2. 必要保障額の算出 				
<p>【テキスト】 ・授業レジュメを資料配布する。 ・字幕のないDVDを使用することがあります。</p>				
<p>【参考図書】 書名: 図説生命保険ビジネス第2版 著者名: 山本祥司/川野眞一郎、他 出版社: 一般社団法人金融財政事情研究会 出版年度: 2022</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね30点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね70点程度)を総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)			01027	
授業科目名:ESD「持続可能な開発のための教育」の ホール・コミュニティ・アプローチ			担当教員氏名:柴川 弘子	
Whole-Community Approach for Implementing Education for Sustainable Development				
履修年次 1~4	1単位	第3学期	1コマ	例:50分×2(火曜 5・6限)
<p>【授業の目的】 ESD は視点の教育であると言われる。そのような視点を持つことで、どのような場・領域・分野においても実践は可能となるとも言える。そして、それらの視点は、まさに持続可能な社会づくりの実践の中において涵養されるものである。ただ単に実践(者)に出会い・体験するのではなく、その前後における十分な探究プロセスの有無が重要となる。そこで、本授業では、学生自らが ESD に出会い、実践を体感し、視点を獲得するという体験を通じて、ESD の実践者として求められる大切な視点を獲得することを目的としている。 以下の内容について、専門知識や技能を習得することを学習目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ESD の基礎的知識 ② ESD を地域と連携して実践する上での課題 ③ ESD を推進する地域の取り組み 				
<p>【授業内容】 ESD(Education for Sustainable Development)持続可能な開発のための教育は、世界の諸課題を見据えながらも「地域コミュニティに根差し、多様な人々、社会および環境と有機的につながり」ながら実践されるものである。ホール・コミュニティ・アプローチとは、多様な持続可能な開発の実践の共同体が、それぞれに自律的かつ主体的に生き活きと実践を進めながら、相互に関わり合い、学び合いながら新たな価値を創造していくように ESD が進められる手法(仕組み・仕掛け)のことを意味している。 本講義で目指すのは、その実践を進める上での課題について理解し、具体的な方法について体験を通じて学び、ESD の実践者としての視点を獲得することである。 本講義では、ESD の基礎的な知識と学習理論、そして先進的な実践事例におけるアプローチについて学ぶ。受講生自身もフィールドに出向いたり、実践者の方と出会ったりする体験を通じて、地域と連携して ESD を推進する上での視点を獲得することを期待している 授業計画は以下の通りである。 1回:オリエンテーション、ESD についての講義 2回:フィールドワーク 3回:フィールドワークの振り返り、ディスカッション、課題提起 4回:関係者による講義、ディスカッション 5回:調査(フィールドワーク) 6回:中間報告 7回:調査(フィールドワーク) 8回:提案発表、振り返り、相互評価</p>				
<p>【テキスト】 なし</p>				
<p>【参考図書】 適宜授業で資料を配布・指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 グループディスカッション参加、プレゼンテーション、レポートなどを総合的に評価する。なお、2/3 以上の出席(フィールドワーク含む)が成績評価の対象となる。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01028	
授業科目名:対話による社会参画入門編			担当教員氏名:桑原敏典		
Introduction edition of a Public Participation through a Conversation			Toshinori Kuwabara		
履修年次 1~4	1単位	第3学期	1コマ	50分×2(金曜7・8限)	
<p>【授業の目的】 この授業は、地域社会に参画する意義の理解に基づいて、自ら社会へ参画しようとする意欲や態度、そのために必要なスキルを身に付けてもらうことを目指します。</p>					
<p>【授業内容】 この授業は、金曜の7・8限の開講となっておりますが、実際の授業の70%は、学外でのボランティア等の活動となります。その時間は、各自が相手との交渉によって決めることとなりますので、授業の実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回:社会参画の意義 第2回:社会参画の方法 第3回:NPOの役割と働き 第4回:NPO活動の実際 第5回:地域課題発見の方法 第6回:地域課題発見のためのワークショップ 第7回:地域課題発見のための技術 第8回:地域課題解決の方法 第9回:地域課題解決のためのワークショップ 第10回:地域課題発見のための実地調査の計画立案 第11回:地域課題発見のための実地調査 第12回:地域課題解決のための実地調査の計画立案 第13回:地域課題解決のための実地調査 第14回:最終報告会</p>					
<p>【テキスト】 使用しない。</p>					
<p>【参考図書】 授業中に指示する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>					

対面授業(教養教育科目)				01029	
授業科目名:対話による社会参画上級編			担当教員氏名:桑原敏典		
Advanced edition of a Public Participation through a Conversation			Toshinori Kuwabara		
履修年次 1～4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(金曜7・8限)	
<p>【授業の目的】 この授業は、地域社会に参画する意義の理解に基づいて、自ら社会へ参画しようとする意欲や態度、そのために必要なスキルを身に付けてもらうことを目指します。</p>					
<p>【授業内容】 この授業は、金曜の7・8限の開講となっておりますが、実際の授業の70%は、学外でのボランティア等の活動となります。その時間は、各自が相手との交渉によって決めることとなりますので、授業の実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。また、入門編を履修していないと履修できません。 第1回:教育における社会参画活動の意義 第2回:社会参画活動のためのワークショップ 第3回:参画する組織や団体のインターネットや文献による調査 第4回:参画する組織や団体へのアプローチ 第5回:参画する組織や団体との連絡 第6回:参画する組織や団体との交渉 第7回:地域課題発見のためのワークショップ 第8回:地域課題解決の方法 第9回:地域課題解決のためのワークショップ 第10回:地域課題発見のための実地調査 第11回:地域課題解決のための実地調査 第12回:地域課題解決のための社会参画活動 第13回:社会参画活動の報告会準備 第14回:社会参画活動の報告会</p>					
<p>【テキスト】 使用しない。</p>					
<p>【参考図書】 授業中に指示する。</p>					
<p>【成績評価の方法】 活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>					

対面授業(教養教育科目)				01030	
授業科目名: 中国語中級			担当教員氏名: 孫 路易		
Intermediate Chinese					
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
【授業の目的】 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成					
【授業の内容】 第 1 学期 第 1 回: 授業内容の概説等と第一課「旧友重逢」(前半) 第 2 回: 第一課「旧友重逢」(後半) 第 3 回: 第二課「作客」(前半) 第 4 回: 第二課「作客」(後半) 第 5 回: 第三課「中国菜」(前半) 第 6 回: 第三課「中国菜」(後半) 第 7 回: 第四課「大手饅頭」 第 8 回: まとめと試験					
【テキスト】 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)					
【参考図書】 授業中で紹介する。					
【成績評価の方法】 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%					

対面授業(教養教育科目)				01031	
授業科目名: 中国語中級			担当教員氏名: 孫 路易		
Intermediate Chinese					
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
【授業の目的】 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成					
【授業の内容】 第 2 学期 第 1 回: 第五課「中国的名特産」(前半) 第 2 回: 第五課「中国的名特産」(後半) 第 3 回: 第六課「茶食」(前半) 第 4 回: 第六課「茶食」(後半) 第 5 回: 第七課「告辞」(前半) 第 6 回: 第七課「告辞」(後半) 第 7 回: 第八課「黄山」 第 8 回: まとめと試験					
【テキスト】 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)					
【参考図書】 授業中で紹介する。					
【成績評価の方法】 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%					

対面授業(教養教育科目)				01032	
授業科目名: 中国語中級			担当教員氏名: 孫 路易		
Intermediate Chinese					
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
【授業の目的】 1.新たな外国語の習得 2.知的能力の涵養 3.異文化理解を通じた人間形成					
【授業の内容】 第 3 学期 第 1 回:第九課「坐卧铺去」(前半) 第 2 回:第九課「坐卧铺去」(後半) 第 3 回:第十課「大観園」(前半) 第 4 回:第十課「大観園」(後半) 第 5 回:第十一課「中国園林」(前半) 第 6 回:第十一課「中国園林」(後半) 第 7 回:映画鑑賞 第 8 回:まとめと試験					
【テキスト】 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)					
【参考図書】 授業中で紹介する。					
【成績評価の方法】 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%					

対面授業(教養教育科目)				01033	
授業科目名: 中国語中級			担当教員氏名: 孫 路易		
Intermediate Chinese					
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
【授業の目的】 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成					
【授業の内容】 第 4 学期 第 1 回:第十二課「茶壺」(前半) 第 2 回:第十二課「茶壺」(後半) 第 3 回:第十三課「成語」(前半) 第 4 回:第十三課「成語」(後半) 第 5 回:第十四課「対聯」(前半) 第 6 回:第十四課「対聯」(後半) 第 7 回: 映画鑑賞 第 8 回:まとめと試験					
【テキスト】 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)					
【参考図書】 授業中で紹介する。					
【成績評価の方法】 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%					

対面授業(全学共通科目)			01034	
授業科目名: ”アタリマエ”の科学 ～スマホに映る半導体と社会～			担当教員氏名:宮崎 悟	
Science in smartphones and society with semiconductors, none of which are taken for granted.				
履修年次 1～4	1 単位	夏季集中	1 時限:50 分 として 計 16 時限	9/17(水)8:40-15:15:計 6 時限 9/18(木)8:40-15:15:計 6 時限 9/19(金)8:40-12:35:計 4 時限
<p>【授業の目的】 私たちが日常アタリマエ(当然)のように使っているスマートフォン。実はそのアタリマエは、半導体を含むたくさんの技術や知見といったエンジニアリング(工学)が社会的に長い年月をかけて蓄積されてきた成果です。しかし、もしかしたらそれがアタリマエではなくなるかも、あるいはアタリマエではないかもしれません。この授業では、アタリマエとしてのエンジニアリングをどのように理解し、理解した上でそれが正しいのか、正しくないのか、こうすれば正しくなるのか、どのように社会とつながっているのか、といった科学的論理思考の素養を学習することを目的に、講義と実践(社会見学やグループディスカッション・プレゼンテーション)を行います。</p> <p>私たちの日常は科学(サイエンス)に溢れています。身近なサイエンスというものを適切に理解し、尊敬(リスペクト)しつつも、時にそれを疑い(サスペクト)、よりよいサイエンスを創り出すことが重要です。そして、サイエンスを取り巻く社会環境までも把握し理解することも重要です。この授業では、サイエンスのリスペクト&サスペクト、そして社会実装を実践的に学び、これからの学生生活をより知的で有意義なものとするという存在意義があります。</p>				
<p>【授業内容】 授業は 9/17(水)-19(金)の 3 日(計 16 時限)連続で行う予定です。 実習と工場見学の内容について、少し変更になる可能性もあるので、随時情報を update いたします。</p> <p>【第 1 回】2025 年 9 月 17 日(水)講義・実習 1 時限目(8:40-9:30)講義「アタリマエの科学」 はじめにみなさんと Ice Breaking を行います。その後、科学とイノベーションについてお話しします。 2 時限目(9:40-10:30)講義「半導体をざっくり知る」by ゲスト講師 半導体メーカーの方をゲスト講師にお招きし、半導体はどのような原理で動いていて、どのように構成され、どのように製品化され、どのように社会実装されているか、などをお話しいたします。 3・4 時限目(10:45-12:35) 実習「スマホを分解してみよう」 グループで実際にスマホを分解してみましよう。2 時限目で説明したことを身をもって体験していただきます。 5 時限目(13:25-14:15) 講義「半導体のつくり方」by ゲスト講師 翌日工場見学に行きます半導体企業のゲスト講師をお招きし、半導体がどのようにして作られるのかを説明いただきます。工場見学に向けての準備運動です。 6 時限目(14:25-15:15) 実習「内省とテーマ設定」by ゲスト講師 半導体工場においてアタリマエだけアタリマエでない現場の課題を説明いただきます。その課題について、自分ならどのように捉えるかといった翌日の工場見学に向けてのテーマ設定をしていただきます。もちろん、これ以外にご自身でテーマを設定いただいても OK です。テーマ設定のお手伝いはしますので安心して臨んでください。</p>				

【第2回】2025年9月18日(木)工場見学・ワークショップ

1時限目(8:40-9:30) 工場へ移動

工場見学先に移動します。

移動手段の費用は学生負担となる可能性もありますが、そんなに高くありません。改めてご連絡いたします。

2・3・4時限目(9:40-12:35) 工場見学

半導体の製造現場をグループで見学します。昨日設定したテーマで、しっかりと色々なものを見て聞いて知ってください。

5・6時限目(13:25-15:15) ワークショップ@工場

自分で設定したテーマについて、実際にどうだったか、自分はどう考えるかといったことを内省し、明日のプレゼンテーションと最終考課に向けての準備をします。グループ単位、もちろん個人単位でもOKですので、色々な人と議論してください。工場の方々も同席されますので、色々なことを質問攻めにしてもらって結構です。

【第3回】2025年9月19日(金)プレゼンテーション・最終考課

1・2時限目(8:40-10:30) プレゼンテーション

みなさんお1人ずつ、自分で設定したテーマに対する考えをプレゼンテーション(パワーポイント)していただきます。ゲスト講師の方々もオンラインで参加される予定ですので、色々な方々からの質問に答えてください。

設定したテーマの内容、プレゼン、質疑応答を評価します。

3・4時限目(10:45-12:35) 最終考課

最終考課を行います。ノート PC をご用意ください。持っていない方は担当教員までご連絡ください。

【テキスト】

なし

【参考図書】

なし

【成績評価の方法】

概ね、以下の項目と配分で評価します。

出席率:10%

受講態度:10%

主体積極性:20%

レポート・プレゼンテーション:60%

令和7年度 **前期** **第1・2学期** **夏季集中** 開講科目用

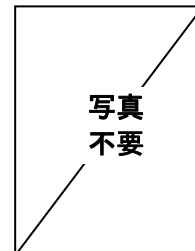
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏 名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等	大学				
学部・学科・学年	学部		学科	年	
(所属大学) 学生番号	性別	生年 月 日	西暦 年		
			昭和・平成・令和 年 月 日		
現住所	〒 - Tel () -				
メールアドレス	@				

※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。

* 履修受付締切日：前期・第1～2学期・夏季集中：4月2日(水)15時まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
遠隔授業科目										
01101	人文学概説(西洋美術史a)	専門	龍野 有子	1	第1学期	2~4	オンデマンド	木 13:25~15:15		
01102	人文学概説(西洋美術史b)	専門	龍野 有子	1	第2学期	2~4	オンデマンド	木 13:25~15:15		
01105	人文学概説(日本美術史a)	専門	大久保 範子	1	第1学期	2~4	オンライン	水 10:45~12:35		
01106	人文学概説(日本美術史b)	専門	大久保 範子	1	第2学期	2~4	オンライン	水 10:45~12:35		
01107	人文学概説(美学2a)	専門	川野 恵子	1	第1学期	2~4	オンライン	火 10:45~12:35		
01108	人文学概説(美学2b)	専門	川野 恵子	1	第2学期	2~4	オンライン	火 10:45~12:35		
01111	現代社会と先端物理学	教養	池田 直	1	第2学期	1~2	オンデマンド	火 13:25~15:15		
01112	キャンパスライフ不 適応への対策講座	教養	原田 新 池谷 航介	1	第2学期	1~4	本授業は、特に大学1年生で、入学後に大学生活の様々な面で困り感を抱えていたり、大学生活に上手く馴染めていないという方を歓迎します。	オンデマンド授業として毎週授業教材をアップしますが、受講の曜日や時間は学生の任意の時間とします。		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
01001	人文学概説(哲学1)	専門	植村 玄輝	2	第1・2学期	2~4		金 13:25~15:15		
01002	人文学講義(哲学)	専門	竹島 あゆみ	2	第1・2学期	2~4		木 13:25~15:15		
01004	人文学講義(社会学a)	専門	齋藤 圭介	1	第1学期	2~4		火 13:25~15:15		
01005	社会学入門	教養	都島 梨紗	1	第2学期	2~4		火 10:45~12:35		
01006	中等社会科・公民科指導法IA	専門	桑原 敏典	1	第2学期	2~4		火 15:30~17:20		
01010	法哲学	専門	大森 秀臣	1	第2学期	3~4		火 13:25~15:15		
01011	一般化学1	専門	鈴木 孝義	1	第1学期	1~4		金 8:40~10:30		
01012	一般化学2	専門	武安 伸幸	1	第2学期	1~4		金 8:40~10:30		
01013	痛みの科学	専門	宮脇 卓也 他	1	第2学期	1~4		月 8:40~10:30		
01014	先端半導体テクノロジー入門	専門	紀和 利彦 平木 英治 鶴田 健二	1	夏季集中	1	日程・講義室は別途周知			
01015	農場体験実習	専門	福田 文夫	1	夏季集中	1~4	●開催場所:岡山大学農学部 山陽圏フィールド科学センター ●定員15名程度 ●学研災加入を履修の条件とする。	9/24~26(3日間)		
01016	Introductory Mathematics I	専門	UDDIN MD . AZHAR	1	第2学期	1~4	※英語による授業	月 13:25~15:15		
01018	健康・スポーツ科学C	教養	榎本 翔太 鈴木 久雄	1	第1~4学期 まがり	1~4		水 18:30~20:20		
01019	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第1学期	1~4	詳細はシラバス参照 第1学期と第2学期を併せて 受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01020	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第2学期	1~4		火 13:25~15:15		
01025	生命保険を考える	教養	山本 一輝	1	第1学期	1~4		月 13:25~15:15		
01026	生命保険を考える	教養	山本 一輝	1	第2学期	1~4		金 13:25~15:15		
01030	中国語中級	教養	孫 路易	1	第1学期	1~4		火 10:45~12:35		
01031	中国語中級	教養	孫 路易	1	第2学期	1~4		火 10:45~12:35		
01034	"アタリマエ"の科学 ~スマホに映る半導体と社会~	教養	宮崎 悟	1	夏季集中	1~4	●定員 10名 9/18(木)は工場見学で学外 に移動して講義を行います。	9/17(水) 8:40~15:15 9/18(木) 8:40~15:15 9/19(金) 8:40~12:35 (計 16 時限)		

写真提出枚数 (カラー、4 cm × 3 cm、裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚

令和7年度 後期 第3・4学期 開講科目用

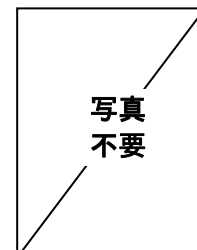
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日		年	月	日			
ふりがな							
氏名							印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等	大学							
学部・学科・学年			学部			学科		年
(所属大学) 学生番号		性別	生年 月日	西暦 年				
		男・女・その他		昭和・平成・令和 年 月 日				
現住所	〒 ————— Tel () —							
メールアドレス	@ ※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。							

* 履修受付締切日： 後期・第3～4学期：9月18日(木)15時まで

* 区分(教養/専門)： 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
遠隔授業科目										
01103	人文学講義(西洋美術史a)	専門	龍野 有子	1	第3学期	2～4	オンデマンド	木 13:25～15:15		
01104	人文学講義(西洋美術史b)	専門	龍野 有子	1	第4学期	2～4	オンデマンド	木 13:25～15:15		
01109	人文学概説(日本思想史b)	専門	本村 昌文	1	第4学期	2～4	対面とオンデマンド併用	月 15:30～17:20	遠隔 対面	
01110	セキュリティ概論	専門	横平 徳美 野上 保之 福島 行信 五百旗頭 健吾 小寺 雄太	2	第3・4学期	3	ハイブリッド授業 理工系学部 3年次以上	月 15:30～17:20	遠隔 対面	

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
01003	人文学概説(芸術学)	専門	本田 晃子	2	第3・4学期	2~4		月 10:45~12:35		
01007	中等社会科・公民科指導法ⅡA	専門	桑原 敏典	1	第4学期	2~4		火 15:30~17:20		
01008	GCED(グローバル・シティズンシップ教育)論Ⅰ	専門	桑原 敏典	1	第3学期	2~4		月 8:40~10:30		
01009	中等社会科・公民科指導法基礎A	専門	桑原 敏典	1	第4学期	1~4		火 10:45~12:35		
01017	Introductory Mathematics II	専門	唐 健	1	第4学期	1~4	※英語による授業	月 15:30~17:20		
01021	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第3学期	1~4	詳細はシラバス参照 第3学期と第4学期を併せて受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01022	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第4学期	1~4		火 13:25~15:15		
01023	数理・データサイエンスの基礎	教養	國米 充之	1	第3学期	1~4		月 10:45~12:35		
01024	安全衛生入門	教養	中西 真他	1	第4学期	1~4		月 13:25~15:15		
01027	ESD「持続可能な開発のための教育」のホール・コミュニティ・アプローチ	教養	柴川 弘子	1	第3学期	1~4	フィールド活動を含みます。	火 13:25~15:15		
01028	対話による社会参画入門入門編	教養	桑原 敏典	1	第3学期	1~4	第4学期の「対話による社会参画入門上級編」と併せて履修することが望ましい。学外での活動が多い授業です。	金 15:30~17:20		
01029	対話による社会参画入門上級編	教養	桑原 敏典	1	第4学期	1~4	第3学期の「対話による社会参画入門入門編」を履修していないと履修できない。学外での活動が多い授業です。	金 15:30~17:20		
01032	中国語中級	教養	孫 路易	1	第3学期	1~4		火 10:45~12:35		
01033	中国語中級	教養	孫 路易	1	第4学期	1~4		火 10:45~12:35		

写真提出枚数 (カラー、4cm×3cm、裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0枚	0枚	0枚